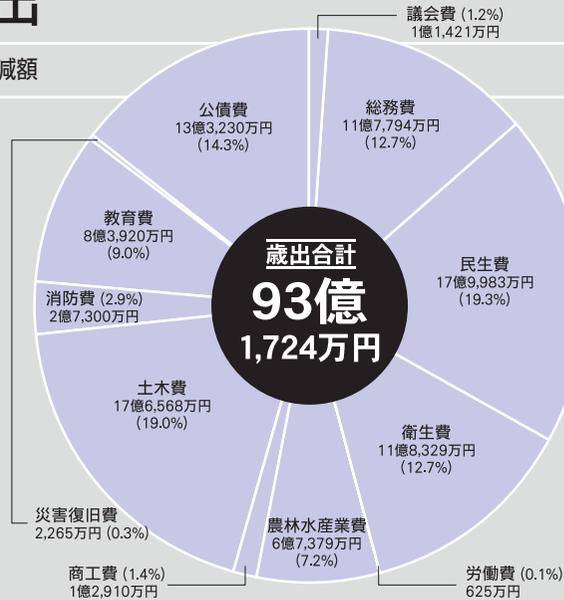


一般会計歳出

前年度に比べて約30億円の減額

歳出合計93億 1,724万円

町が支出した昨年度の一般会計の歳出は93億1,724万円でした。平成18年度決算額119億5,171万円に比べて約30億円の減額となっています。この要因として、平成18年に執行された、町ケーブルテレビ事業の導入費約13億円と基金積立金約17億円が挙げられます。平成19年度の歳入歳出差引残額は1億107万円となりますが、そのうち8,265万円は翌年度へ繰り越すべき財源となりますので、1,843万円が実質収支となります。

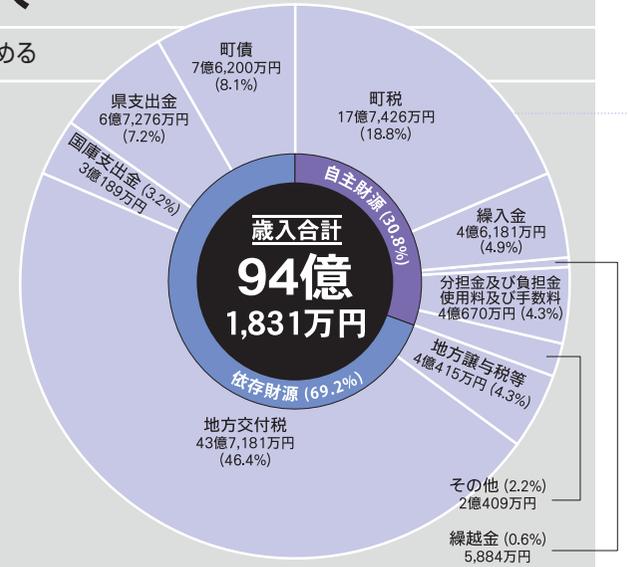


一般会計歳入

依存財源が全体の約7割を占める

歳入合計94億 1,831万円

町に入った昨年度の一般会計の歳入は94億1,831万円でした。その内訳は、国や県の補助金などの依存財源が約69%、町でまかなう自主財源が約31%となっています。しかし、自主財源には全体の4.9%にあたる基金の取り崩し(4億6,181万円)や繰越金0.6%(5,884万円)が含まれているので、実際の町の収入は町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、その他の計25.3%、全体の約4分の1となります。依存財源の中で最も多い割合を占めるのが地方交付税で歳入全体の46.4%(43億7,181万円)と全体の半分近くを占めています。



特別会計

会計名	歳入	歳出
老人保健特別会計	23億1,850万円	23億1,849万円
介護保険特別会計	15億 445万円	15億 401万円
国民健康保険特別会計	20億5,696万円	20億5,671万円
下水道事業特別会計	16億9,262万円	16億9,260万円
分譲宅地造成事業特別会計	1億5,108万円	1億5,107万円
ケーブルテレビ特別会計	9,027万円	9,026万円

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	3億5,220万円	3億3,694万円
資本的収支	3億2,842万円	5億 916万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度損益勘定留保資金で補填しました。

基金と地方債

会計名	基金	地方債
一般会計	61億 508万円	132億4,691万円
介護保険特別会計	7,469万円	0万円
国民健康保険特別会計	611万円	0万円
下水道事業特別会計	0万円	158億7,122万円
水道事業会計	1億1,629万円	16億9,529万円

【主な事業】

●にぎわいと活力あるまちづくり

ケーブルテレビ運営事業	5,236万円
町道新設改良及び消雪工事	4億9,923万円
県営土地改良事業	
(ほ場、基幹排水等) 負担金	1億1,122万円
農村総合整備事業・基盤整備促進事業	7,970万円
織物プリンタ設置事業	2,727万円

●健康でいきいきと暮らせるまちづくり

ウェルカム定住奨励金	220万円
中学校建設準備検討事業	104万円
特定環境保全公共下水道事業	4億 871万円
上水道設備工事	5,208万円
石綿セメント管更新事業	2億2,731万円

●強い絆を育むまちづくり

中能登町町祭開催事業	2,084万円
------------	---------

お問い合わせ

総務課財政担当 TEL 74-2802

決算

平成19年度

中能登町では、『ふるさと能登町』を基本理念に掲げ、町民の皆さまが住みよい町になるように、基盤整備や福祉、教育などさまざまなサービスを進めてきました。地方財政を取り巻く状況は、国の三位一体改革による国庫補助・負担金の改革・税源移譲・交付税制度改革の影響を受け、ますます厳しい状況にありますが、今後も財政の健全化に向け、行財政改革の推進や行政コストを削減し財政基盤の安定化を図ってまいります。町勢発展のため、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

町税の収入状況

【町民税】	8億 346万円	【軽自動車税】	3,415万円
【固定資産税】	8億4,718万円	【町たばこ税】	8,948万円

財政用語解説

【歳入】	入ってきたお金
【歳出】	使ったお金
【地方交付税】	町の財政状況に応じて国から交付されるお金
【繰入金】	基金を取り崩して収入するお金など
【町債】	町が借り入れるお金
【公債費】	借りたお金の返済にあてるお金